

令和7年度 第1回 飯田市産業振興審議会 議事録要旨

1. 開催概要

日時：令和7年9月24日（水） 9時30分～

会場：飯田市役所C棟3階 C311～C313

出席者：委員22名（名簿は末尾に記載）

2. 開会・委嘱状交付

事務局より開会を宣言し、委員へ委嘱状の交付が行われました。（任期：令和7年度～8年度の2年間）

3. 市長あいさつ（要旨）

佐藤市長より、委員就任への謝辞とともに、本審議会の意義と期待について以下の通り述べられました。

（1）審議会の目的

「地域経済活性化プログラム」を策定するため、各業界の代表者から現場の声をいただき、市の施策へ反映させること。

（2）現状認識

人手不足や物価高騰、不安定な国際情勢など厳しい環境にある。こうした時こそ足元を固め、業界の状況を共有し、進むべき方向性を議論していただきたい。

（3）「いいだ未来デザイン2028」後期計画

今年度からスタートした後期計画の基本目標5（産業振興）において、「多様な働き方」を重要なキーワードとしている。

（4）多様性の推進

女性の活躍や多様な組織のあり方が地域の活力に直結する。審議会においても多様な視点から忌憚のない意見を期待している。

4. 正副会長の選出

委員の互選により、以下の通り選出されました。

会長：原 勉 委員（飯田商工会議所 会頭）

副会長：矢崎 孝弘 委員（NESUC-IIDA 代表幹事）

【原会長就任あいさつ】

来年度の地域経済活性化に向けた答申を行う重要な役割を担っている。リニア中央新幹線を巡る状況など不透明な要素もあるが、これから地域経済をどうしていくかという新しい提案を、全3回の審議を通じて活発に行っていきたい。

5. 諒問

佐藤市長から原会長へ、「当市における地域経済活性化の方向性」についての諒問書が手交されました。

6. 報告事項

事務局（産業経済部）より、以下の資料に基づき現状の報告が行われました。

「地域経済活性化プログラム2025」取組状況報告

全体状況及び4つの視点（人材の確保・育成、地域経済循環、ゼロカーボン、デジタル化の推進）

各分野の状況 製造業、農業、林業、観光、商業、事業支援（起業、事業承継、金融）

7. 産業分野横断グループワーク

委員が4つの班に分かれ、現在の産業課題や今後の方向性について、分野の垣根を超えた意見交換が行われました。

8. 今後の日程

第2回 審議会：10月21日（火）15:00～17:00（飯田市勤労者福祉センター）

第3回 審議会：11月17日（月）15:00～17:00（飯田市役所C棟3階）

【出席委員名簿（敬称略・順不同）】

原委員（会長）、矢崎委員（副会長）、上野委員、殿倉委員、池上委員、木下委員、井口委員、山崎委員、澤柳委員、赤羽委員、吉沢委員、新井委員、高橋委員、牧内委員、中島委員、川手委員、中村委員、加藤委員、西沢委員、宮崎委員、三浦委員、北原委員（計22名）